

# 各種目で熱戦繰り広げる 新宮、那智勝浦、太地で体育祭



新宮市の緑丘中、城南中と那智勝浦町の那智中、宇久井中、下里中、太地町の太地中で18日、体育祭があった。時折雨が降る中、学年別の100m走やリレー、綱引きなどを繰り広げ、訪れた保護者らから大きな声援を受けた。同市立光洋中はグラウンドの状態が悪化したため中断し、延期となつた。日時は未定。各校の様子は後日写真で紹介する。

市立城南中学校（中田善夫校長、生徒180人）

の今年のスローガンは「令和最初の城南伝説」。中田校長が「スローガンに挙げた体育祭をつくるのは皆さんです。自分たちの力で素晴らしいものにできるよう頑張ってください」と生徒に呼び掛けた。高塚恒輝君（3年）と玉置七彩さん（同）が選手宣誓した後4ブロックに分かれて競技を開始した。

選抜生徒による60m走、80m走で幕開け。借り物競走や騎馬戦、大縄跳びなどさまざまな種目に取り組んだ。競技中でない生徒は、各クラスの趣向を凝らした手作りの旗やうちわで仲間に声援を送り、保護者や地域住民も生徒が真剣に競技に取り組む姿を見守った。

町立那智中学校（船井洋二校長、生徒154人）では「踊れ！走れ！はしゃげ！」僕らの新時代

『令和』を胸に「スローガンに掲げた。吹奏楽部の演奏で開会式、船井校長が「一人一人、仲間と一緒に協力して全力で競技に取り組んでください」といさつ。尾崎玄多君（3年）の選手宣誓の後、学年や個人対抗でリレー、

1等を目指しスタートする生徒ら=18日、新宮市立城南中学校

貴也校長、生徒53人は、「新たな令和を翔けぬけろ！」新元号は優勝ダンス「明日へと」の披露もあった。同町の色川中学校は秋に開催する。

町立太地中学校（山田貴也校長、生徒53人）は、3ブロックごとに赤・青・黄のオリジナルTシャツを着用。開会式で各ブロック長の中村友飛君（3年）、奥村行正君（同）、由谷豪太良君（同）がダンス「明日へと」を披露。学年縦割りの3ブロックに分かれて得点を競つた。生徒たちは短距離走や三脚綱引きなどで、さまざまな種目で熱戦を繰り広げた。

（泉 真子、榮本康人、石田幸子）



大きな声で「よっしゃー！」=同日、太地町立太地中学校



声高らかに選手宣誓=同日、那智勝浦町立那智中学校

## 医師・濱口政也さんが講話

28日、新宮市仲之町のロッコ

紀南病院勤務の医師、濱口政也さんの講話「熊野の医療・介護の『今の危機・これから危機』」が28日（火）午後7時から、新宮市仲之町商店街の喫茶ロッコで開かれる。入場無料。

濱口さんは同市三輪崎出身。勤務医や介護職員の不足、地元開業医の高齢化などで厳しい状況に陥る可能性が高い当地方の医療、介護の現状について話す。問い合わせは森さん（電話090・8956・6108）まで。

・忌明・法事等パック料理 3,200円より